

わたしの 健康とくすり



第152号

今月の内容

- 漢方治療も選択肢の一つ
- 医薬品の特許について
- 漢方薬を選ぶポイント

ヤマモモ（ヤマモモ科）

関東南部以南の温かい土地に自生する常緑樹で、東京でも公園などによく植えられています。雄の木と雌の木があり、雌株にはクワの実に似た径が1.5-2cmほどの球形で暗赤色の実が付きます。甘くておいしい果実です。樹皮は楊梅皮（ようばいひ）と言ひ、下痢止めにしたり、口内炎のときのうがい薬にします。また草木染めで布を黄から暗褐色に染めるのに使ひます。

写真・文 指田 豊

発行者 八王子薬剤センター

2008年8月発行

東京都八王子市館町1097 電話042-666-0931

茂木 徹

協力 八王子薬剤師会



疾患シリーズ

漢方連載

①漢方治療も選択肢の1つ

最近、各診療科で漢方薬が利用されるようになり、その頻度は専門領域にもよりますが、40～70%であると言われ、年々増加の傾向にある。疾患名では、自覚症状がなかなかとれない**自律神経失調症状**、不定愁訴症状などで代表される**更年期障害**、鼻アレルギー、花粉症、気管支喘息、アトピー性皮膚炎に代表される**難治のアレルギー疾患**、慢性胃炎などの**胃腸疾患**、なかなか抜けきれない**風邪症候群**、高血圧症・糖尿病・肥満で代表される**メタボリックシンドローム**、うつや片頭痛などの**精神神経疾患**、肩こり・腰痛などの**関節・筋肉痛**、蛋白尿やむくみがとれない**腎疾患**、慢性呼吸器疾患、尿トラブルなどの**泌尿器疾患**、**老人病**、更にはがん治療での**免疫能の増強**や**QOL（生活の質）の向上**、**リウマチ疾患のステロイド剤の離脱**などと、多方面に応用されている。そうした背景には、現代医学の治療法のみで全てに対応出来ない現実がある。更には薬害問題などで患者さんからの要望もある。医学部教育で東洋医学が必修科目になり、殆どの医科大学に東洋医学講座ができ、医師の間でも漢方治療の認識と実践が出来る医療環境が整いつつある。また、毎日のようにマスメディアに出ている漢方薬情報が浸透しているなどが挙げられる。

ご承知のように、漢方治療は**全人的治療**と言われ、患者さんそれぞれの病状に適った個別の治療、**オーダーメイド治療**とも言われている。例えば、熱が下がった、炎症が収まった、原因菌はいなくなった、もう治ったので来院しなくても良いと言われても、患者さんは症状がとれない、以前の体調に戻っていない、不快な違和感が残っているなどで、QOLが得られていないことがある。このような場合には現代医療での対応は難しく、神経質だからと、心療内科などへ行くように勧められる事が多々あると言われる。

漢方医学では病状を見極めるために、患者さんの**訴えを聞き**、併せて**腹診**^{ふくしん}や**脈診**^{みやくしん}などの**漢方医学独自の診断法**を行いながら、**虚実**^{きょじつ}（病気に耐える体力があるか否か）・**寒熱**^{かんねつ}（冷えや熱感の有無）などの**体質的な面**、**病気の進行状態**、**患者さんの容態**などを参考にし、漢方薬を選択するのが原則である。従って、あの人に効いた漢方薬を処方して欲しいと来院されたとしても、全く同じ漢方薬を選ばれることは少ないのである。この事を漢方医学では**同病異治**^{どうびょういぢ}という。



ちょっとお耳を…… 「医薬品の特許について」



特許制度は「新しい物質や技術の発明者にそれらの使用を一定期間独占させ、研究開発に使った費用の回収を保証する制度」で、存続期間は出願から20年です。では医薬品の特許はどのようになっているのでしょうか？



● 医薬品の特許の種類

医薬品に与えられている特許には、以下の4種類があります。

- ① **物質特許**…新しい有効成分に与えられる特許
- ② **用途特許**…有効成分に新しい効能・効果が認められたときに与えられる特許
- ③ **製法特許**…有効成分の新しい製造方法に与えられる特許
- ④ **製剤特許**…薬の安定化、添加剤など製剤上の新しい工夫に与えられる特許

● 特許期間は最大25年

医薬品の場合、新しい成分を発見してから販売するまでに、臨床試験等を行うため通常10～15年かかると言われています。特許期間20年間のうち10～15年間は開発期間になるので、特許出願者が不利益にならないよう特許期間延長制度が適用され、特許期間は最大で25年となっています。

● 特許切れと後発医薬品

後発医薬品（ジェネリック医薬品）は、先発医薬品（※1）の物質特許期間及び再審査期間（※2）が完了した後に販売されます。

販売にあたりあらかじめ医薬品の品質の安定性と、先発医薬品との効き目が同じであることを証明するための試験を行い、厚生労働省が定める基準をクリアする必要があります。

後発医薬品を作る際、先発医薬品の製剤特許や製法特許など他の特許が残っている場合があります。このような場合、残っている特許をクリアするために様々な工夫をしています。また、用途特許が存在する場合は、同じ有効成分であっても先発医薬品と後発医薬品で使える病気が異なる場合があります。

（※1）先発医薬品…物質特許などをもっている最初に作られた医薬品

（※2）再審査期間…新薬について、承認後一定期間（6～10年）使用の成績等に関する調査（市販後調査）を行い、その結果から有効性と安全性を再確認する制度



おくすりQ&A

風邪に効く漢方薬を選ぶ時のポイントは…？

漢方薬は独特の風味があり、選択が難しいためOTC医薬品としてはなかなか親しみを持っていない方が多くいらっしゃるのではないのでしょうか。しかし現在、多くの漢方薬や漢方成分を含む薬がOTC漢方薬として存在しています。そこで今回は自分に合う漢方薬の選び方についてお話したいと思います。

OTC漢方薬を選ぶにあたって

まず、その判断に用いられるものが「証」という概念です。証は大きく「実証^{じっしょう}」と「虚証^{きょしょう}」に分けられます。「実証」とは体力があり、血行も良く胃腸の丈夫な状態です。特徴として便秘傾向があり、暑がりであるなどが挙げられます。逆に体力に自信が無く胃腸も弱い、寒がりによく下痢をするという方は「虚証」であるとされます。また、年齢・体重や症状の経過・状態も考慮しなければならない大切な事項です。これらを踏まえて、証と風邪の時期、症状別にいくつか例を挙げてみます。

証	風邪の時期	症 状	漢方薬名
実 証	ひきはじめ	発熱・寒気・ふしぶしのいたみ	葛 根 湯
虚 証	ひきはじめ	発熱・頭痛	桂 枝 湯
中間証	初期～中期	鼻水・咳・鼻づまり・うすい痰	小 青 竜 湯
中間証	中 期	微熱・食欲不振・はきけ	柴胡桂枝湯
中間証	長引くかぜ	咳こみ・痰なし	麦 門 冬 湯
中間証	長引くかぜ	かぜのあとの食欲不振・疲れ	小 柴 胡 湯
虚 証	長引くかぜ	食欲不振・疲れ・衰弱・高齢者	補中益気湯

*過去にも漢方の特集があります (No.24, No.99, No.113)。

★自分がどのような体質であるか判断することは難しいことです。また、基礎疾患や併用薬の有無も気をつけなければならない点です。購入の際には薬剤師にご相談ください。★



執筆薬剤師 米原 元子
 (編集担当 岡田 寛征)